

# 富田林市橋梁長寿命化修繕計画の概要

## 背景・目的

本市が、管理しており本計画の対象とする道路橋は、平成25年4月現在で合計63橋(拡幅部を分離すると65橋)あります。



高橋



昭和橋



千代田橋

現在、高度経済成長期に架けられた橋が老朽化しており、補修する費用の増加や補修対策時期が集中することが懸念されています。本市では、65橋のうち半数以上が既に架けられて50年以上を迎えており、30年後には90%以上が架けられて50年を経過する高齢化橋となることが見込まれています。

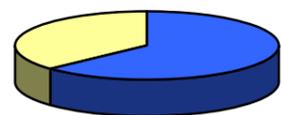
高齢化橋の増加により、安心して安全な交通の確保が困難となり、市民生活に大きく影響を及ぼすだけでなく、多大な維持管理費用が必要になると想定されます。

そこで、市が管理している橋に対する維持管理の方法をこれまでの「悪くなってから対策を行う」というものから、「傷みが大きくなる前に計画的に対策を行う」という予防的な管理に移行し、安心・安全な道路環境を維持するとともに、維持管理にかかる費用の縮減を図るものとしています。



【2013年現在】

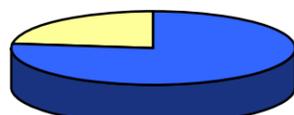
50年未満  
24橋(37%)



50年以上  
41橋(63%)

【10年後】

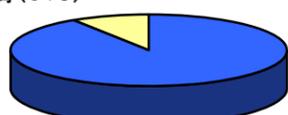
50年未満  
15橋(23%)



50年以上  
50橋(77%)

【30年後】

50年未満  
6橋(9%)



50年以上  
59橋(91%)

## 修繕計画の内容と効果

策定した計画に基づき平成25年度より傷んだ箇所の補修などを順次実施します。



傷んでいる箇所

コンクリートの劣化

コンクリートのはく離

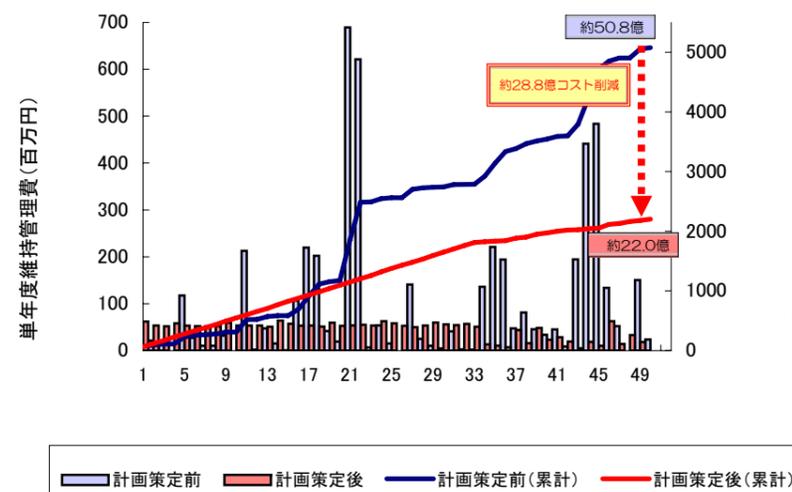
舗装のひびわれ

鋼材の腐食

修繕

コンクリートの修繕  
舗装の修繕  
塗装の塗替え  
など

計画策定前と計画策定後の将来事業費概算予測



本計画で計画的に橋の補修を行うことで、橋の寿命を50年以上延命できるとも言われています。

そして、本計画によって橋の維持管理費がおよそ50.8億から22.0億に節約できることになり、およそ28.8億のコスト削減を図ることが出来ると期待されます。

今後、本計画に基づいて橋の点検、維持、対策を繰り返し行うことにより、橋の健全な管理をすすめ、経済的で安心・安全な道路環境を形成し円滑な交通を維持するよう努めます。

## 橋の維持管理方針

次の方法で橋の維持管理を行います。

- ・5年に1度程度、定期点検の実施
- ・日常の道路施設パトロールにおける点検

これらの点検を通して、橋の傷みを早期に発見しその傷みが大きくなる前に対応します。また本計画は、本市の管理する橋(歩道橋を除く)全てを対象として修繕計画を策定します。

## ご指導・ご助言を頂いた学識経験者

本計画の策定にあたり、  
近畿大学理工学部社会環境工学科 米田 昌弘 教授 / 工学博士、技術士(建設部門)  
近畿大学理工学部社会環境工学科 東山 浩士 准教授 / 博士(工学)、技術士(建設部門)

